

大会参加レポート
ロゲイニング菅平大会
2005年5月29日

日本初 12 時間ロゲイン

木村佳司



暗闇の中の、この晴れやかな表情。これがロゲイニングだ！
しかし明朝には後半の6時間が待っている！

もはやアッチの世界に
てしまった。そんな感じが
した今年のロゲイニング大会。
あらゆる参加者層を惹き付
ける。

ジャパンロゲイニングチャレンジ 2005
菅平大会
2005年5月28日(土)-29日(日)
長野県菅平高原から群馬県一帯

夜中の怪人たち

土曜日夜。闇に包まれていたスキー場に、揺れ動く明かりが近づいてくる。最初は数が少ないが、明かりは次第に数を増していった。ロゲイニングチャレンジ 2005 菅平大会の12時間の部で設定された、夜間強制休憩のタイムリミット21時までであとわずか。

帰還チェックを受け、照明のともったスキーハウスに入った参加者の顔は一樣に満足げだった。彼らの装備はもう完全にアドベンチャーレースの世界。タイツに帽子、ヘッドランプ。競技用ザックと水筒と食料。非常連絡用の携帯電話とクマ避けの鈴。ハイキングや競技オリエンテーリングとはまた違った雰囲気だ。

スタートしたのは土曜日15時。そこから12時間のレースが始まる。参加者の安全と運営の都合で21時から翌日6時までは強制レストが組み込まれている。

数年前より開催されてきた菅平高原のロゲイニング大会は3時間から始まり、6時間、9時間そして12時間へと拡大されてきた。最初の3時間は菅平高原内部だけで行われたが、6時間の部で根子岳山頂(2207m)が競技範囲に含まれた。昨年の9時間の部では四阿山山頂(2354m)が含まれ、とうとう今年の12時間の部では群馬県の浦倉山や菅平高原から長野・須坂側に大きく下った米子瀑布近辺までもが競技範囲に加わった。その広大な範囲はもはや日本地図で確認することができる。

12時間の部男子優勝 チーム野獣
12時間の部女子優勝 4 アミーゴス
12時間の部混合優勝 EAST WIND



スタート15分前に地図が配布され、攻略法を相談するグループ



サングラスに映る地図。サングラスの奥では戦略を練る目が光っている。

爽やかに3時間

12時間に比べ、3時間ロゲインの部は全く別競技。補給は必要なものの最後まで走りきれる時間だ。地図も通行可能度入りO-mapを使用する。大規模スコア0といってもいい。各自作戦を立てそれぞれの装備でのぞむ。晴れた高原での頭脳と体力のゲームだ。



3時間の部ではこんなに身軽な参加者も

準備だってサバイバル！

大会準備を行っている金曜日に高原一体を雷雨とヒョウが突然襲った。高原や山頂区にフラッグ設置に出かけた者たちは群馬県側に下山するなど、エスケープを余儀なくされた。ああ怖かった。(木村佳司)